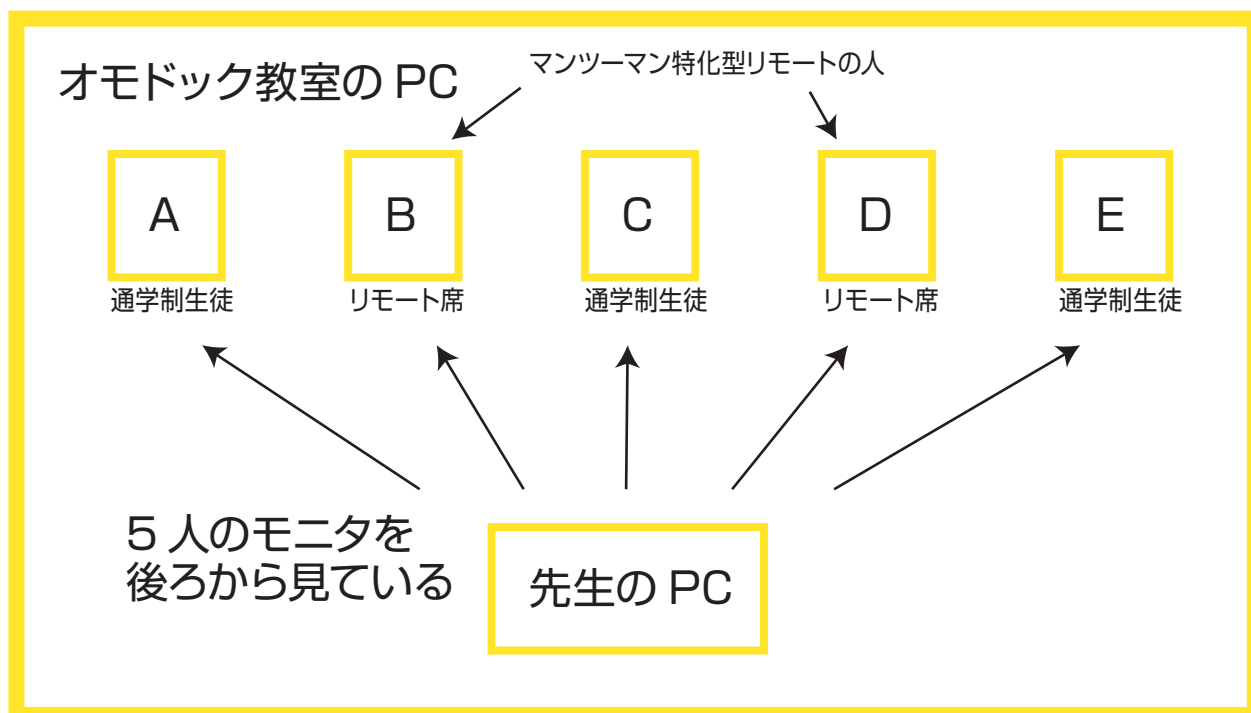


マンツーマン特化型リモート受講の概要



①当学校は『家庭教師型のマンツーマン制』の通学制授業を行っていましたが、コロナ時代にソーシャルディスタンスで1席ずつ間を開けて座るようになり、現在その座席を【マンツーマン特化型リモート受講】者の Google Meet と接続する席として使用しています。つまり生徒の Google Meet は先生の PC に直接接続されているわけではなく、B または D の生徒用の席の PC に接続されます。

②生徒用の ABCDE 席のモニタは先生の席から約 2、3m と離れています。先生は生徒の席のすぐ前に座っているわけではなく、全部のモニタが見わたせる位置から授業の監督を行っています。そして A の生徒さんから『質問』と言われたら A の PC に近づいてマンツーマンで教えるのと同じように、【マンツーマン特化型リモート】の人から『質問』と言われたら、その PC に近づいて質問に答える形になります。

③つまり普段先生は ABCDE のモニタすぐ前にはいないので、【マンツーマン特化型リモート】の人が『チャット』で質問されて、文字が小さくて見えません。よって通常は『チャット』機能は使わずに、教室内の生徒と同様に必ず音声で『すみません』と声を掛けてもらっています。スピーカ音量は教室の生徒さんの声と同じ音量になっています。

④また当学校では1時間ぐらいたったところで先生から『切りのいいところで保存して休憩を挟んでください』と言われます。そうしたら適当に5分か10分のトイレ休憩を挟んでもらっていますが、特に休憩とる必要がないときはそのままやってもいいですし、5分休むか10分休むかは生徒さんのお任せにしています。よって『休憩が終わったら授業に戻ってください』とは言いませんので、教材再開のタイミングは自分で決めてもらっています。